

佐世保には他のまちとは全く違う、独自に歩んできた歴史があり、その歴史から生み出されるまちの雰囲気もまた魅力的で、特別なものだろうと、スタジオの開設前から興味を持っていました。昨年十一月に福岡から佐世保に移住し、メンバーと一緒に、また佐世保のまちを歩き、調査してきましたが、それまで持っていたイメージを大きく超えるほどの宝物を観ることができました。

私たちは考えるまちづくりの原点は「あるもの探し」。調査を進める中で、今、佐世保らしさを感じるまちの風景は、単なる見た目でなく、そこに住む人の生活の営みや匂い、人情、さらにはこれまでの歴史の積み重ね、これらがカタチになっているということに改めて気付きました。そんな宝物をできるだけ多く発見し、光を当てることによって佐世保の魅力向上につなげていきたいと思っています。

三月末で代表研究員の務めを終え、福岡に戻りましたが、スタジオの活動は続けていきます。大学院では景観工学を専攻し、さまざまな要素が重なり合うまちを舞台に勉強しています。これからも自分の足で、いろんなことを感じながら、まちづくりに携わっていきたいと思います。



宮崎 大 (みやざき・ひろし) さん  
九州大学大学院生。「させば港まちづくりスタジオ」の初代代表研究員で、現在も同スタジオの研究員として活動に参加している。

生活の営みや匂い、人情、歴史の積み重ねに佐世保を感じます



### させば港まちづくりスタジオの佐世保路地裏マップ

- A ささ通り**  
昔ながらの名前が残る路地裏通り
- B スイッチ通り**  
雰囲気や昼と夜でスイッチする、二度おいしい通り
- C ネイビーストリート**  
ネイビーストリート
- D レトロ通り**  
レトロな情緒が漂う懐かしい路地裏通り
- E ミステリアス通り**  
住宅街の一角にある謎めいた路地裏
- F 一休み通り**  
ちょっと一休みしたくなる静かな通り
- G セサミストリート**  
実は英会話学校？佐世保名物の外国人バー通り



右／ちょっと一休みしたくなる一休み通り  
中／その店独特の個性が表れるセサミストリートにある看板  
左／緊張感が湧いてくる夜のセサミストリート

で通ると、心が和むような静かさも特徴の一つである。

この通りは、立体駐車場の裏に面していることや、道路がきれいに整備されていることで、車の通り道としても利用されている。道幅が狭いということもあり、車の通りが決して多いわけではないのだが、のんびり歩きたいときに車が通ると、若干気分が害されるような気持ちにもなる。

この通りは、人目や車の通行を気にせず、のんびりと道の真ん中を歩いたり、ベンチなどを設置してゆつくり座ったりできるようにするというのがかもしれない。思い切ったこの通りを歩行者専用道路にしてみるのほうだろうか。アーケードを歩き疲れた人たちが、安心して休憩できるようにするといのではいかと考えている。できることなら「一休み通り」、「一息通り」など、いかにも「休める通りである」と思わせるような名前をつけて、みんなに親しんでもらいたいと思う。

(P5路地裏マップ・F)

### セサミストリート

三ヶ町アーケードの裏にある外国人バー通り。この通りは、車が通れないほど道幅が狭く、なぜか外国人が通るたびに緊張感が体の底から湧いてくる。そんな通りを歩いてみると、いろいろな店の看板を目にする。看板には、そ

の店独特の個性が表れている。青を基調にした海を感じさせるようなものやどこから見ても目立つものなど、中に入らなくても外から見ただけで雰囲気がかめる感じがする。看板は、ほとんど英語で書いてあるが、日本人にもわかりやすいように、英語の下にはカタカナで、その店の名前が表記されているものもある。

外国人バー通りを歩くと、外国にいるような感じがしてくる。しかし上を見ると、そこには日本の透き通った空があり、空を見ていると日本を感じてくる。不思議な気持ちにさせる通りである。

この通りは、昼間には日本人も外国人も抜け道として利用しているようだ。しかし夜になると、通りは本領発揮。とても賑やかで、いろんな声が聞こえてくる。昼は物静かな路地裏だが、夜には賑やかな路地裏へと変身するのである。昼と夜、全く異なる顔を持っている。

(P5路地裏マップ・G)